

Crescendo

vol.125

M E D I K I T A R T S C E N T E R くれっしえんど

メディキット 県民文化センター
MEDIKIT ARTS CENTER

宮崎県立芸術劇場
MIYAZAKI PREFECTURAL ARTS CENTER

シリーズ〈大人のためのコンサート～なるほどクラシック講座〉
vol.5 主役はコントラバス！

新 かぼちゃといもがら物語#1『板子乗降臨』特別企画
土田英生×永山智行 スペシャル対談

Miyazakiアウトリーチ
アーティスツ・エキシビション#3

演劇アウトリーチプログラム
『けんげきくんがゆく!』たいけん密着レポート



新 かぼちゃといもがら物語#1『板子乗降臨』特別企画
土田英生×永山智行 スペシャル対談



シリーズ〈大人のためのコンサート～なるほどクラシック講座〉
vol.5 主役はコントラバス！



Miyazakiアウトリーチアーティスツ・エキシビション#3



©Wataru Sato

卷頭コラム

新かぼちゃといもがら物語

生まれ育った宮崎に50年ぶりに帰り再び暮らすようになって、昔に比べ宮崎弁を聞くことが随分少なくなつたなと感じる日々ですが、「へとんしれん」「もぞなぎ」「のさん」「ほがね～」…といった言葉を耳にすると何とも言えない懐かしさを感じことがあります。小さいころの遊び仲間やその周辺の大達やジイサン、バアサンたち、いろんな出来事がふつと思いつかれて宮崎らしい人の絆、コミュニティの存在を感じるからでしょうか。

私はそうした人のつながりや宮崎らしいコミュニティを舞台で描く、つまり演劇として作れないだろうかと考えてきました。今年の県文化賞を受賞された鶴ヶ野勉さんの小説に「ばあちゃんのBSE」という作品があつて2年前に読んで感銘を受けたのがきっかけです。酪農を営む集落がBSEで大騒ぎしている最中に、あるおばあさんが幼なじみと恋に落ちる。家族や隣近所や集落の様々な人物が織りなす物語は、宮崎らしい人の絆が今も厳然と生きていて、その世界をお芝居にできる可能性を感じさせてくれました。

劇場の仕事は音楽と演劇、大きく二つあります。館長に就任して気づいたのは、音楽では国際音楽祭という大きな柱を築いてきたけれど、演劇の領域では旗印になるようなものを作ってきていない。地方創生と呼ばれて久しい日本の地域社会は、少子高齢化や中央集権をはじめ多くの影に覆われ続け、そこで暮らす人々は悩み苦しむつつの影と向かい合っている。そこに光を当てる「宮崎を舞台に、宮崎の役者が、宮崎弁で」作る芝居のシリーズを、劇場のもう一つの柱に育て宮崎文化の発信につなげたいと考えました。

宮崎の男と女、かぼちゃといもがら達がどんな“へとんしれん”悩みや喜びを抱え、舞台でどんな涙や笑いを誘う“ほがねえ”物語を見せてくれるのか。劇場では今、来年2月の第1回公演に向けて制作が進んでいます。お客様に共感をもって迎えられるものにしたいと。新しい演劇シリーズにご期待ください。

公益財団法人宮崎県立芸術劇場理事長 佐藤寿美

Special interview

池松氏が宮崎で演奏するのは、第5回宮崎国際音楽祭以来16年ぶり。故アイザック・スターが舞台袖で“アーミング”と絶賛した、その音楽性と音色。桐原直子音楽事業アドバイザーが、約16年間熱望し続けたコンサートが、いよいよ実現します！

コントラバスとの出会いを教えてください。

中学生のころクラシック音楽に目覚め、高校に入ってヴァイオリンをやりたいと思い管弦楽部に入ったのですが、ヴァイオリンは沢山いるからと、足りない楽器のクラリネット、チェロ、そして指揮を任せられました。3年生になるころには音楽家になりたいと思うほどめり込んだのですが、楽器は全て独学なので音大受験できるレベルではなく、指揮者なら…と素人考えで指揮者の先生に相談に行ったところ、いきなりは難しいからとりあえずコントラバスをやりなさい、と勧められて始めたのがきっかけです。

今回のコンサートは「主役はコントラバス！」です。

コントラバスの魅力は？

何と言ってもアンサンブルで低音パートを受け持つことです。ジャズでもクラシックでもリズムを刻み、ハーモニーの土台を作っているパートなので音楽の要と言って良いでしょう。コントラバスなしのジャズやオーケストラは考えられません。コントラバスが素晴らしい音楽性を持ってリードできることが必要条件ですが、音楽の縦線であるハーモニーと、横線である時間の流れをコントラバスが支配していて、理想的にはそれを全員が聴いてそのままに乗っかって弾くと良い演奏となります。

コントラバスで良かったと思う時はどんな時？

①オーケストラでヴァイオリンが難しいパートを弾くところで、ヴァイオリン奏者が指揮者に絞られている時(笑)。大体こういう時はコントラバスは1小節に1つしか音を出してなつたりします。②ヴァイオリンやチェロの人達が楽器や弓の値段の話をしている時。コントラバスが一番安いです。③演奏旅行などで、チェロの人達が荷物と楽器を担いで移動する時。コントラバスは楽団が運んでくれます。④演奏中、音楽的に素敵なところでコンバスがずっと休みで、鑑賞できるとき(特等席で)。

渓流釣りが趣味とありますが、釣りと音楽の共通点は？

共通点は感じませんが、釣りが音楽に良い影響を与えることはあります。実際、釣りをして得た集中力で、演奏中のポカミスが少なくなりました。優れた音楽家の方々は尋常でない集中力の持ち主です。また、渓流釣りは山の中に入つて、普通の人があまり行かないような自然の中を満喫できます。そこで感じるものの、得られる感覚が音楽の演奏上に悪いものになるはずがあり

コントラバス界のスーパースター 池松宏に聞く！

ません。大作曲家は自然の中を歩いたりして楽想を得ているわけですし。

山田武彦さんと藤本いくよさんとは初共演ですね。

山田さんとは以前から共演させていただきたいと思っていましたが、ようやく実現できて嬉しく思います。ただでさえ超絶に難しいラフマニノフのチェロソナタをコントラバス用にアレンジした移調版でお願いして、断られるのでは?と心配したのですが快諾して下さいました。藤本さんも初共演となります。ボッテジーニの歌とコントラバス、ピアノのための曲という珍しい曲が演奏できるので楽しみです。あまり演奏されませんが大変美しい曲です。

今回のプログラムの聴きどころについて教えてください。

ラフマニノフのチェロソナタは僕が高校生のころから大好きな曲です。ロシアの広い大地を想像させるような息の長いフレーズ、そして安っぽくなるギリギリ歩手前のロマンティズム。ロシア人歌手は何と言ってもバスやバリトンですから、チェロより音の太いコントラバスの方が合うのでは?と勝手に解釈して演奏いたします。川島素晴さんの「パガニ蟹」は題名の通り、奇妙奇天烈な曲で、僕が知りうる限り一番難しいコントラバスのソロ曲ですが、笑いも散りばめてあり、きっと楽しんでいただけることと思います。あとあらゆるコントラバスの音が奏でられます。

どんなコンサートになりそうですか。

おそらくほとんどの方がコントラバスのソロの演奏を初めて聞かれるかと思います。オーケストラでは右端の奥の方で地味に伴奏していますが、ソロだとこんな素敵なお音なんだ!なんて感じていただければ言つことはありません。二度と来ない、なんて思われたら他のベース弾きに申し訳ないです。宮崎は本当に久しぶりです。アウトドア派の僕は大好きなところです。海も綺麗ですし。皆さんにお会いできるのを楽しみにしております。

Message

桐原直子
(企画・構成／音楽事業アドバイザー)



先日、知り合いの方から、「よくぞ池松さんを呼んでくださった! 音楽祭(第5回)の演奏を聴いて以来の大ファンです」と声をかけられ驚きました。16年前のたった20分程の演奏の感動を覚えていたことは…。我が意を得たり! 私もそのファンの一人なので、思わず熱い握手をしてしまいました。

宮崎で再びあの池松さんの演奏を…と熱望し続け、やっと今回、皆様にお聴きいただくことができます。しかも、ピアノはプロの方々から高い評価のある山田武彦さん!

地元の藤本いくよさんも加わり、豪華としか言いようがない私達が16年前に受けた感動、それ以上を今回、ご体感ください。

池松 宏(コントラバス)

1964年ブラジル生まれ。19歳よりコントラバスを始める。桐朋学園大学卒業。NHK交響楽団首席を経て、2006年家族と共にニュージーランド移住しニュージーランド交響楽団首席。2014年帰国し現在東京都交響楽団首席奏者。これまでに6枚のソロ・アルバムをリリース。東京藝術大学准教授。国立音楽大学客員教授。渓流釣りが趣味で2013年ニュージーランド・ナショナル・フライフィッシング・ペア大会優勝。



公演情報

シリーズ〈大人のためのコンサート～なるほどクラシック講座〉

vol.5 主役はコントラバス！

1月27日(金) 【会場】イベントホール

【出演】池松宏(コントラバス) 山田武彦(ピアノ) 藤本いくよ(ソプラノ) 桐原直子(ご案内)

◆ランチタイム・コンサート～気軽に楽しむお昼の60分～

開場11:00 開演11:30(60分公演・休憩なし)

【料金】全席自由 一般1,000円[会員800円]

◆ソワレ・コンサート～じっくり楽しむ夜の100分～

開場18:30 開演19:00(100分公演・休憩あり)

【料金】全席自由 一般2,000円[会員1,800円] U25割1,000円 親子割2,500円※小・中学生+一般

●門川公演 【会場】門川町総合文化会館
1月28日(土) 開場13:30 開演14:00(100分公演・休憩あり)
【料金】一般2,000円 高校生以下1,000円
問 公益財団法人門川ふるさと文化財団 Tel.0982-63-0002

Miyazaki アウトリーチアーティスト・エキシビション #3

本公演は、音楽アウトリーチ事業「ミュージック・シェアリング」の3期生による集大成コンサート。約2年間、宮崎の端から端まで音楽を届けてきた、高場涼子さん(ピアノ)と熊谷愛香さん(フルート)が、この2年間の活動で培ってきた“音楽を伝える力”を存分にお届けします。そのほか、日々創意工夫してきた実際のアウトリーチプログラムも紹介する予定です。宮崎を拠点にこれからも演奏活動を続けていく若手演奏家の門出を祝うコンサート、ぜひご期待ください!



2年間のアウトリーチで計41か所を訪問。
公演ごとに打ち合わせから本番後の反省会まで行い、
ひとつひとつ丁寧に作り上げてきました。

アウトリーチの流れ

本番前には、必ず1度会場の下見へ。
打合せをして、プログラムの組み立てを考えます。

会場下見
& 打合せ ➡️ プログラム決定
& 練習 ➡️ ➡️ 会場設営
リハーサル・本番 ➡️ ➡️ 反省会

毎回、桐原アドバイザーにチェック&
アドバイスしてもらひ本番に臨みます。



本番後はすぐに反省会。演奏だけでなく、
段取りやトーク、コミュニケーションの
とり方などについても振り返ります。

➡️ 会場設営
リハーサル・本番 ➡️ ➡️ 反省会



訪問したのは
ココ！日南市立
酒谷小学校

演劇アウトリーチ事業「けんげきくんがゆく！」

『けんげきくんがゆく！』では、応募のあった県内の小規模小学校を訪問して、①動いて感じるワークショップ(体験講座)と、②見て感じる鑑賞体験の2つをお届けしています！監修及び演劇作品の構成・演出を務めるのは、小中高校でのワークショップを数多く行っている永山智行さん。今回は、県内で活動する俳優陣4名とともに、日南市立酒谷小学校を訪れました。1年生から6年生まで全学年の生徒20名が、元気いっぱい参加してくれました。

たいけん密着！レポート



▲講師たちは、全員ニックネームで自己紹介！声を合わせてニックネームを呼ぶ場面では、「おだやかな海をイメージして呼んでみよう！」など、ユニークな設定を設けてみんなでチャレンジしました！



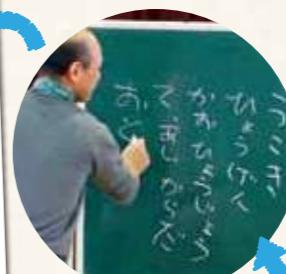
▲演劇は英語で「Play=遊び」。ここからの時間は、子ども達と一緒に懸命遊ぶことを約束しました！もちろん大人も本気です。



◀4つのグループにわかれワークショップがスタート！空気のボールを相手にパスしながら、自ら作った擬音語を声に出す遊び♪最初は恥ずかしそうだった児童たちもノリノリ。



▲各グループで、谷川俊太郎の「わたし」という詩を代わる代わる朗読。他人から見たいいろいろな「わたし」が登場するこの詩を、各々が想像力を膨らませて朗讀します。自分の新たな一面や、普段とは違う友達の一面を発見し、大盛りあがりでした。



▲永山さんが、「ありがとう」を声や表情を変えて言っています。同じ言葉でも、どんな声(音)で、どんな表情で話すかによって、伝わり方が変わることを身を持って体感しました。



▲特定の擬音語しか話せない状況で、「おはよう」から「おやすみ」までの一日の風景を再現。ジェスチャーや顔の表情も使ってコミュニケーション。みんな必死です！



▲ワークショップの後は、いよいよ演劇鑑賞。間近で繰り広げられる迫力ある演技に見入る子どもたち。マラカス、太鼓などの音にも敏感に反応していました。



▲作品は宮澤賢治の「どんぐりと山猫」。劇の途中には、子ども達もどんぐり役で参加します。「わあわあわあ」や「がやがやがや」の大合唱のほか、希望者には個別に台詞も割り当てられました。出番がやってくると、みんな思い思いに表現！みんなで一緒に表現する楽しさを感じてもらえたようです。



▲楽しい時間はあっという間。最後はみんなと笑顔でハイタッチ！

たいけん感想

今日は、私も子どもの気持ちになって参加させていただきました(笑)。ワークショップでは子ども達が生き生きしていましたし、演劇鑑賞では食い入るように観ていたので、とてもいい刺激になったと思います。授業以外でも子ども達の感性や表現力に働きかけができるといいなと思っていたので、とてもいい機会になりました。ありがとうございました。

高妻智子校長先生

平成28年度に訪問した学校はこれら！

- 都城市立富吉小学校
- 高千穂町立押方小学校
- 都城市立夏尾小学校
- 日南市立東郷小学校
- 日向市立美々津小学校
- 日南市立酒谷小学校

来年度も
引き続き
県内各地の
小学校に
お伺いします！

Message 出演者からメッセージが届きました。

高場涼子(ピアノ)

2年間の集大成であるコンサートが近づいてきました。振り返ると、毎回、プログラム作りには頭を悩ませた2年間でした。それが、今では、楽しみに変わりつつあります。そして、その瞬間にしかない会話や音楽を通じて、感じた事、学んだ事も多くありました。1年目に比べると、予想外・想定外の事への対応力もついてきました。一つ一つのコンサートが、大切な思い出です。まだまだ、アウトリーチ活動がありますが、2月のコンサートも見据えながら、今後の演奏にもつなげていけるよう、しっかりと準備していきたいと思います。

Message

熊谷愛香(フルート)

この2年間は聴いていただく方に、フルートを身近に感じ「フルートっていいな」と思っていただけるよう、毎公演気持ちを込めて演奏させていただきました。一人一人のお顔が見える距離での演奏に加え、自身で進行もしていくアウトリーチの公演は、体力的にも精神的にも鍛えられました。また、話し方次第で聴く側の集中力や、音楽の受け取り方が変わるという事も生の反応から学び、今後の音楽活動にとても必要なことを教えていただきました。そして、公演後皆様から頂いた絵やお手紙は大切な宝物になりました。コンサートでは、2年間の活動でお世話になつたすべての方々に感謝の気持ちを込めて臨みたいと思います。

公演情報

Miyazakiアウトリーチアーティスト・エキシビション#3

2月25日(土) 14:30開場 15:00開演

【会場】アイザックスターントホール

【演出】高場涼子(ピアノ) 熊谷愛香(フルート) 野崎さやか(ピアノ伴奏)
桐原直子(お話／音楽アウトリーチアドバイザー)

【料金】全席自由 一般1,000円[会員800円]



音楽アウトリーチ事業 「ミュージック・シェアリング」 現在、平成29年度の 開催団体(会場)を 募集中！

応募対象は幼稚園、保育園、小学校、中学校、各種施設等です。

平成29年度・30年度は、

第4期アーティスト

壽山智美さん(フルート)が各地に訪れ、音楽をお届けします。
申込期限は、**平成29年1月27日(金)必着**。
詳しくは劇場HP、または、応募チラシをご覧ください。

関連企画

パネル展『アウトリーチアーティスト2年間の軌跡』のご案内

【期間】2月9日(木)～2月22日(水) 2年間のアウトリーチ活動を紹介するパネル展を2か所で開催！県電ホールでは、ミニコンサートも開催します。

【場所①】
メディキット県民文化センター1階エントランス
※開館時間：午前9時～午後10時／月曜休館

【場所②】
県電ホール(宮崎県庁宮崎県企業局内1階)
※開館時間：午前9時～午後8時
★2/15(水)・22(水)は、ミニコンサートあり。
(12:30～20分程度／入場無料)

メディキット県民文化センター
(宮崎県立芸術劇場)

自主事業公演チケット情報

2月11日(土・祝)

チケット発売中

開場10:30 開演11:00

アイザックスターントホール

小さなお子さまと一緒に約1時間のコンサート♪

おんがくのおもちゃ箱シリーズ Part.4
『もうすぐ春だよ!全員集合!』

出演: 黒木奈津季(ピアノ)

大西映光(ベース)

衛藤和洋(ドラム)

松本俊郎(サクソフォン)

伊豆謡子(司会)

全席自由 4歳未満無料

一般(4歳以上)500円

なかよしチケット700円

(4歳以上2人1組、前売りのみ)



Attention(ご注意) ◎記載情報は変更になる場合があります。 ◎割引サービスの詳細は、劇場HPをご覧ください。 ◎当日券が出る場合は、一般チケットのみ500円増(一部公演除く)になります。 ◎未就学児の入場ができる公演では、託児サービスがご利用いただけます(有料・事前申込要)。

国内オーケストラの首席奏者達とスタジオ界のトッププレイヤーがタッグを組んだ、スーパー・プラス・アンサンブル 『侍BRASS』が宮崎初見参!

楽団長の中川英二郎氏から
メッセージが届きました。

ジャズ、クラシックの日本を代表する
メンバーが宮崎に集結します。
この機会を是非お見逃しなく!
お待ちしております。



公演情報

侍BRASS 2月5日(日)開場13:30 開演14:00

【会場】アイザックスターントホール

【出演】中川英二郎(トロンボーン) エリック・ミヤシロ(トランペット) ほか

【曲目】・スタートレックのテーマ(編曲:エリック・ミヤシロ)

・フェイマスジャズメドレー(編曲:中川英二郎)

・十拳剣(作曲:中川英二郎) ほか

【料金】全席指定 S席3,500円[会員3,100円] A席2,500円[会員2,200円]

U25割(A席のみ)1,500円

親子割(A席のみ)3,000円※小・中学生+一般

お問い合わせ

宮崎県立芸術劇場
MIYAZAKI PREFECTURAL ARTS CENTERTEL.0985-28-3208 FAX.0985-20-6670
<http://www.miyazaki-ac.jp/>TEL.0985-28-3208 FAX.0985-20-6670
Twitterとfacebook随時更新中!「フォロー」と「いいね!」お待ちしています。